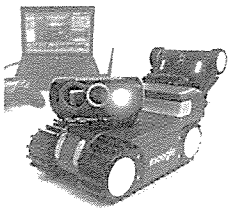
日本住宅保証検査機構

ロボットで床下点検、サービス開始

日本住宅保証検査機構（以下JIO）は、狭小空間点検ロボットを活用した床下点検サービスを開始した。

これは、大和ハウス工業が開発した狭小空間点検ロボット「moogle（モーグル）」をJIOの点検員が操作して、床下の状況を点検・撮影するサービス。基礎立ち上がり部のクラックの有無や劣化の状況、木部のひび割れ、蟻害、腐朽の状況等を点検し、報告書の作成までを行う。


▲「モーグル」が点検、撮影

点検にかかる時間は約60分。点検中は施主が立ち会うことも可能で、透明性の高い点検を切り口にしたリフォーム提案が可能。普段直接目にすることができない箇所を可視化することで、施主の不安を払拭、信頼を得ることができる。またOB宅の定期点検や中古の買取再販物件の事前確認にも活用できる。

料金は床下点検面積が100㎡以下の場合、2万9000円。100㎡を超える場合は3万500円。JIOでは来年の3月31日受付分まではキャンペーン期間中の特別価格として100㎡以下で1万9000円、100㎡を超える場合で2万3000円の特別価格でのサービス提供を行っている。

売上高0・8%増、603億円

クリナップ決算「クリンレディ」販売減

井上強一社長

クリナップ（東京都荒川区）の第2四半期連結決算は、売上高が前年同期比0・8%増の603億円、経常利益は同35%減の23億円だった。

駆け込み需要の反動で新設住宅着工数の減少が続くなど厳しい環境の中、普及価格帯のシステムキッチン「ラクエラ」を今年9月にリニューアル。リフォーム市場を中心に売り上げを大幅に伸ばした。一方で中高級キッチン「クリンレディ」購買層のショールーム集客が回復せず、販売台数、金額とも減少した。

売り上げ構成の約8割を占める厨房部門の売上高は前年同期比3・3%増の471億円。内訳はラクエラが14億円増、高級タイプキッチンS.S.は2・1億円増、その他のシステムキッチンが18・1億円増、クリンレディは16億円減だった。

なお通期の業績予想は下方修正し、売上高は前年比6・8%減の1200億円、経常利益は62・2%減の32億円に縮小する見通し。

今後は看板商品であるクリンレディの巻き返しを図り、ショールームでのイベント開催などを通じて動員数アップを目指す。

会見で井上強一社長は「クリンレディは当社の主力商品。2015年5月前後に全面リニューアルしてご提案できるように準備している」と強調した。

「住まいの屋根換気壁通気研究会」発足

一般社団法人住まいの屋根換気壁通気研究会の設立が発表された。住宅の屋根換気および壁通気に関する研究成果や情報を会員同士で共有し、建物の外皮の耐久性能を向上することが主な狙い。

11月13日、同会理事長でハウゼコ（大阪市）の神戸睦史社長らが発足発表会を開催した。セミナーや見学会の開催を通して、学識経験者と会員の交流を行っていく予定。実際に人が暮らしながらの換気、通気の実証実験をはじめ、様々な実験を行うハウゼコが有する情報の提供も行われる。

▲左から松尾和也専務理事、坂本雄三特別顧問、神戸睦史理事長、石川廣三顧問

特別顧問には建築研究所理事長の坂本雄三氏、顧問に石川廣三東海大学名誉教授、岩前篤近畿大学教授を迎えている。常任の専務理事には松尾設計室の松尾和也代表が就任。会費は個人会員が入会金5000円・年会費5000円、法人会員が入会金2万円・年会費1万円。

「国の細かな規定のまだない建物外皮の通気と換気についての研究とその結果を会員同士で共有して、建物の耐久性向上に貢献していきたいと考えています。リフォーム会社や工務店の実務に携わる方々にぜひ参加していただければ、情報や学識経験者の方々との交流を通して非常に得られるものは多いと自負しております」（神戸理事長）

プロフェッショナル

エコロジー×エコノミー×健康住宅を提案

パッシブ技術研究会を立ち上げ、普及を目指す

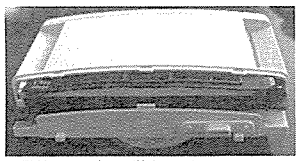
マツナガ 松永潤一郎社長

東京・練馬で創業し30年。マツナガは、断熱、換気、パッシブと専門性の高い〝住まいづくりのコンサルティング〟を行う企業だ。

「大手ハウスメーカーが〝最大公約数的な家〟をたくさん造って売っているとしたら、地域の工務店は、そのエリアの特性や住む方のライフスタイルなどを考えて、一緒にカスタマイズしていくことが大事だと思います」（松永潤一郎社長）

多用なニーズに応じるために、セルロースファイバーや換気システムなどで独自の商品、工法を開発したり、太陽熱集熱パネルなどで特徴的な輸入商品を扱っている。「もちろん住宅には〝これが絶対〟はありません。そのお宅にとってのトータルバランス、〝適材適所〟のご提案をする際の選択肢の1つと考えています」

最近は、とくに自然エネルギーの有効利用にこだわる。「先代のときから断熱改修に力を入れていますが、断熱は住まいの熱ムラがなくなり、光熱費が大きく削減できます。そこに自然の力を生かす〝パッシブ〟が加わると、さらに室内環境や省エネ性能が向上します」


▲同社のMSデマンド換気システム

北海道で長い歴史のある〝パッシブシステム研究会〟で勉強を重ねた松永社長は、温暖地でのパッシブ換気の普及を目指し、昨年7月、〝パッシブ技術研究会〟を立ち上げた。

現在までに関東近県や長野、高知などの賛同者が集まり、研究や見学会のほか、住宅を建ててそのデータを蓄積、分析している。「今、練馬に建設中の住宅では、効果が分かるように体験宿泊もできるようにしたいと思っています」

温度差による自然エネルギーで床下暖房が家全体に回るパッシブ換気は、機械に頼らない、エコな快適空間が広がるメンテナンスフリーな長寿命住宅。「実績を積んで、平成25年省エネ基準に加えてほしいと思っています。そのためのプロフェッショナルな仲間を、今、増やしているところです」

エコロジー×エコノミー×健康住宅が同社の目指す生活だ。

日本最大級のお庭づくりネットワーク

タカショー リフォームガーデンクラブで、これからのお庭づくりをご一緒しませんか？

2014年度第9回全国交流会の様子
懇親会の様子

共に学び、共に創り、共に成長しよう！

リフォームガーデンクラブは、モノ（商品）サービスだけではなく、コト（ソリューション）サービスをご提供するクラブです。会員様、一社一社が主体となり「一つ一つの現場」で、お客様に喜んでいただける価値を創造するために、積極的に活動しています。会員様同士のネットワークや情報交換も活発に行われ、お互いが一丸となってお客様の困ったコトにお応えできるお庭づくりのプロフェッショナル集団として活動しております。

REFORM GARDEN CLUB Takasho

―思いをひとつに―
デザインや技術を広く学び、庭にもっと付加価値を
タカショー リフォーム ガーデンクラブ
13,000点以上の豊富な施工例！ リフォームガーデンクラブ 検索

ご入会について、お気軽にお問い合わせください!!
rgc@takasho.co.jp TEL.073-486-2534
〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1（株式会社タカショー本社内） 担当：岡本、緒方、中村

庭から考える家づくり。“エクステリア＆ガーデン”新商品、新提案が続々登場！ 詳しくはホームページへ。 タカショー 検索